

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

栃木県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
足利市立久野小学校	足利市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
足利市立久野小学校	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/	https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/soshiki/a95/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

本市全小学校において、平成15年度より取り組んできた英会話学習の内容と外国語活動・外国語科の内容を関連づけた独自の年間指導計画を作成し、「話すこと」「聞くこと」に特化した指導を行うことで、英語によるコミュニケーション能力の育成を図る。

必要となる教育課程の基準の特例については、「【教育課程特例校】特別の教育課程の実施状況等について（足利市）」を参照。

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- ・実施していない

(3) 自校における評価

授業の初めの Greeting では、あいさつや月日、曜日、天気などを尋ねられると、積極的に答えている児童の姿が見られる。これは、1年時から毎回繰り返し行ってきた成果の一つであり、基礎的なコミュニケーション能力の育成や英語に慣れ親しむことにつながっていると思われる。

また、ゲーム的要素も取り入れながら新しい単語や表現を練習することで、もっと覚えたい、使いたい、学びたいという意欲も高まり、休み時間にも、EAAやALTとあいさつや会話を交わす児童が特に下学年で増えている。

英語でコミュニケーションをとる経験を積み重ね、できた喜びを味わわせることによって、抵抗を感じることなく外国語の学習へとつなげていきたい。

(4) 学校関係者による評価

<児童>

英会話学習や外国語活動、外国語の授業を楽しんでいる児童が、特に下学年に多い。第1学年からEAAの英語を耳にし、聞き取る力はかなり付いている。

一方で、5・6年の外国語の学習内容はレベルが上がり、他の教科と同様に成績も出ることから、苦手意識をもち始めている児童も見受けられる。特に、聞き慣れた単語であっても表記することに困難さを感じている。

<保護者>

1年生からネイティブの英語に触れることができ、「聞くこと」に慣れることはもちろん、正しい発音を覚え「話すこと」に生かされていると思う。EAAやALTと一緒に生活する中で、英語でコミュニケーションをとることが自然とできていて良い。

5・6年の外国語の教科書を見ると、内容も難しくきちんと理解できるか心配な面もある。

4. 実施の効果及び課題

「話すこと」「聞くこと」を中心に進めてきた英会話学習は、英語に慣れ親しむことや英語を聞き取ること、英語によるコミュニケーションへの意欲向上等に一定の効果があった。

それらを、教科化されて「読むこと」「書くこと」も加わった5・6年の外国語の学習にどうつなげ、生かすかが課題である。特に、文法に触れずに学習を進めることが、逆に理解を難しくしている部分もあるように思う。中学校の学習へよりスムーズにつなげられるように指導法を工夫していきたい。

5. 課題の改善のための取組の方向性

今後も「話すこと」「聞くこと」を中心に英会話学習や外国語活動を進め、英語を学ぶ楽しさや英語でコミュニケーションがとれたときの達成感等を十分に味わわせ、5・6年の外国語の学習に、自信をもって意欲的に臨めるように指導方法を工夫していきたい。音声と共に英単語や英文を見せ、聞いたものと書いたものがリンクするようにすることで、「書くこと」への抵抗を和らげたい。

また、小中の連携が図れるように互いの授業を参観する機会を設けられると良いと思う。